

新栄だより vol.29

富山霊園・西の番

富山市斎場が2021年9月に新築完成しました



旧富山斎場は老朽化したことから、富山市斎場再整備事業として新築されることになり、この度、完成いたしました。

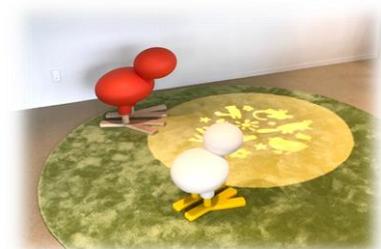
▲南側からの外観



▲立山ウォール
(雪の大谷をイメージした吹抜けです)



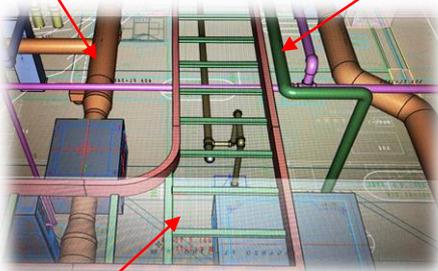
▲ラウンジ
(晴れた日は立山がよく見えます)



▲キッズスペース

空調・ダクト配管

設備・給水配管



▲3DCADの図面 (天井裏の様子)

電気・ケーブル用配線ラック

令和2年4月から令和3年8月までの約1年半、富山市斎場再整備事業建設工事(1期工事)の電気工事を当社の江尻課長と共に施工管理をさせて頂きました。主に図面と安全書類の作成・管理を担当しました。図面作成では幹線図作成時、初めてCADソフトの3D機能を使ってラックルートの検討を行いました。天井懐が狭く限られたスペースで設備配管やダクト等との調整を行わなければならなかったため、佐藤工業(株)設備担当清水様や設備業者菱機工業(株)大谷様、施工業者の方々との打合せを繰り返しながら図面を作成しました。3D機能を使うことで実際に近いものがイメージでき、時間はかかりましたが無事施工することができました。また、告別室の照明は調光システムで設計されており調光・調色シーンはタブレットでシーン設定が出来ます。初めて学ぶことが多く、沢山の経験をさせて頂き感謝申し上げます。関係各位には大変お世話になりました。

(工事部施工管理課・姫野)

今回の富山市斎場は特殊な建物でなかなか経験することが出来ない現場です。難しい仕様ではありますが、普段は経験できないという意味では楽しみに思いながら現場に入らせて頂きました。しかし、現場が進むにつれて敷地の制限があり、建物はかなりコンパクトに凝縮している点と意匠表現の収め方の難しい点が多々あり、現場管理を進める上で、他業者様との打合せを繰り返し細心の注意を払い、何とか収める事が出来た現場です。その中で姫野君には幹線ルートと天井伏図の調整をメインに担当してもらいました。上記でも触れていましたが3DのCADもすぐに慣れてうまく収めてくれました。また、姫野君にとってプライベートで結婚、新築、引越と大変な年でしたがよくやってくれました。一回り大きく成長したと思います。今回の現場経験を活かしてさらなる成長が楽しみです。最後に施工に携わった佐藤工業(株)様の矢野所長様、設備担当清水様、設備業者菱機工業(株)大谷様をはじめ関係者各位には大変お世話になりました本当にありがとうございます。感謝申し上げます。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

(工事部施工管理課・江尻)

脱炭素化に向けて

イギリスで開かれた国連の気候変動対策会議「COP26」で、世界の平均気温の上昇を1.5度に抑える努力を追求することが決意されました。気温上昇を抑えるために、この10年間での行動を加速する必要がありますと明記し、各国の2030年に向けた排出削減の目標について2022年の末までに必要に応じて検証し、さらに強化することを要請することで合意しました。

地球に気候危機が到来しています。食料システムを再活性化させて、森林伐採を止め、二酸化炭素の排出を削減するなど世界レベルでの行動が求められています。そのような中、車の進化によってエネルギーマネジメントの意味が大きく変化しています。CO2の排出を減らし、カーボンニュートラルな社会にする、エネルギー消費の最小化を考慮した再生可能エネルギーの普及が望まれます。

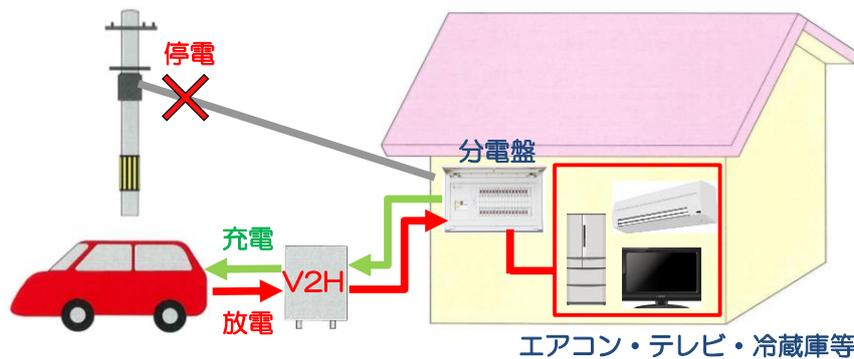
日本のエネルギー支出は、1世帯当たり年間およそ20万円強。ごみ処理費用は1世帯当たり年間およそ1万5千円くらいと言われています。このエネルギー支出を地方創生で地域の再生エネルギーとして供給することができれば、エネルギー流出を止めることができます。

また日本は台風や地震の多い国です。脱炭素化に向けてCO2排出の削減の取り組みの加速化と気候変動への危機感が各産業界や企業への技術開発を加速させ、今激変しようとしています。

電気自動車(EV車)の普及

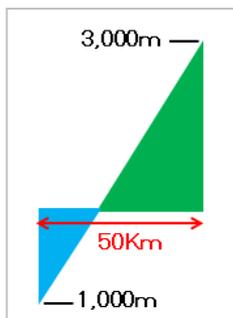
災害時における電気自動車の活用・EV車にできること

「防災給電」対応車のV2H「充放電器」は（直流から交流に変えるパワーコンディショナーです）普段はEV車に電源供給し、災害時（停電）にはEV車から住宅へ数日電源供給できます。



小水力発電に適した富山の特徴

小水力発電所が県内各地で建設されています。富山県は三方が山々に囲まれており、標高3,000m級の北アルプスの山々に降る大量の雨と雪は、富山平野を潤し地下水は富山湾の海底から湧き出すなどダイナミックな水循環系を形成しています。



北アルプスから流れる雪解け水は、富山平野を潤しおいしいお米やお酒を作り出してくれます。その水はさらに海に流れ、富山湾へ。寒流と暖流が混ざる富山湾は、海の幸の宝庫です。この富山県の地形は自然の恵みをエネルギーに変えてくれます。



富山県は、3000m級の立山連峰から水深1000mの富山湾まで、高低差が4000メートルにも及ぶ地形となっています。世界でも大変珍しい地形です。

▲急流河川により形成された扇状地からなる富山平野
富山県の7大河川には1000kw未満の小水力発電所が53カ所あります。
★印が小水力発電所のある場所です。

参考資料：第6回全国小水力発電大会inとやま
参考資料：経済産業省 自動車課
国土交通省 安全・環境基準課
電動車活用社会推進協議会
(工事部施工管理課・上沢)

安全大会を開催しました

令和3年7月3日（土）、富山国際会議場にて安全大会を開催致しました。
今回の安全大会では、人財教育家、メンタルスキルコーチの飯山 暁朗（いいやま じろう）様をお招きしご講演いただきました。演題は「高校野球で奇跡を起こしたメンタルコーチが語るメンタルアップ術」で、メンタルアップの法則を教えてくださいました。

講演会の要旨【メンタルアップの3つのポイント】



▲飯山暁朗（いいやま じろう）様
（1969年生まれ。富山県高岡市出身）

- ☆ <ポイント1・ワクワク願望>
人は「正しい事」ではなく、「楽しい事」しか継続しない。
成功したからワクワクしたのではなく、ワクワクしながらチャレンジしたから成功する。
- ☆ <ポイント2・プラスの言動>
脳は口にしたことを実現しようとする。
他人を褒めた「言葉」が自分に跳ね返ってくるので、人を褒める人は伸びる。
「思い」より「言葉」、「言葉」より「動作・表情・態度」を変える事が大事。
- ☆ <ポイント3・誰かのために>
夢や目標に向かっていっていると限界が来る。
自分の為の夢や目標は限界を早くするが、誰かの為の夢や目標は限界を超える力になる。

☆ 人の潜在意識には「できる」か「できない」かが記憶されています。しかし、どちらも思い込みに過ぎず、成功するには、その思い込みの「枠」を外し自分の「限界」を外す必要があります。その為にメンタルアップが重要になってきます。また、成功は持ち続けたイメージの大きさに決まり、成功したときのイメージができるかどうか成功のカギとなります。

飯山 暁朗先生には、たくさんの体験談から分かり易く、また説得力のあるとても内容の濃い講演を頂きました。お客様のためにお役に立つこと、喜んでいただくことを目指して、今回学んだメンタルアップ術を活かしていけるよう、まずは日頃の「言葉・動作・表情・態度」を意識して変えていきたいと思えます。



▲講演終了後の集合記念写真

（総務部総務課・酒井）

富山の秋の景色です お客様から写真を頂きました



▲日の出



▲朝焼け



▲日中

10月上旬の日の出から朝焼け日中の様子です。
新栄だよりを楽しみにして頂いている富山市在住のT様から頂きました。ありがとうございます。

当社で育てている植物です



▲多肉植物「ガステリア」



▲インパチェンス



▲デュランタ



▲ガザニア

左の写真の多肉植物ガステリアは、ガステリアの中でも「子宝」という品種です。
次から次へと子株が出てきます。ペットボトルの蓋に植え込んでみました。

（総務部・清水、酒井）

富山南警察署新築工事が富山県知事賞を受賞しました

この度は、昨年10月に竣工しました富山南警察署新築電気設備工事において富山県知事賞を受賞させていただき大変嬉しく感じております。関わったすべての方々のお力添えいただいたおかげで竣工出来た現場です。関係者の方々に多少なりとも恩返しできたかと思えます。今回このような賞をいただきました。皆様に感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

(工事部施工管理課・細川)



◀富山南警察署新庁舎
令和2年11月24日開署



▲細川リーダーと清水社長

人事報告

今年の9月から入社しました新人の小西です。砺波市(散居村)から通勤しております。経歴は高岡商業高等学校(野球推薦)を卒業後、35年間銀行員として北は北海道から南は大阪まで11ヶ店(すべて転居を伴う)で勤務をしてきました。銀行員としては稀な高卒ということで苦労しましたが、実績と信頼を残すことで階段を登ってこれたと思っています。その後は電子機器のメーカーで10年勤務してきました。



▲小西常務です

私の座右の銘は「平日の信は、効を臨時に収む」江戸時代の儒学者・佐藤一斎の残した言葉の一部です。日頃の小さな信用(信頼)が、いざというときに効果を発揮する、という意味です。信用や信頼は失うのは一瞬ですが、築くのは急いでできるものではありません。また、お客様や同僚に対して「誠実さ」をもって対応していくことで必ず将来、自分に返ってくると思っています。また、その姿勢や精神は新栄電設の経営理念にも通じるものと思っています。私自身も、貢献できるよう努力してまいりますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

(常務取締役・小西)

小西常務と同じく9月に入社しましたハン悠他です。この度、ご縁がありまして新栄電設に入社しました。電気工事管理は10年ほどの経験がありますが、今まではRC(鉄筋コンクリート)造の経験しかありません。現在はS(鉄骨)造の現場管理に携わっています。RC(鉄筋コンクリート)造の工程とは全く違い、周りの方々に教えて頂きながらなんとか管理を進めております。私にとっては毎日が勉強です。多々ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、ご指導のほど宜しくお願い致します。

(工事部施工管理課・ハン)



▲ハン主任です

資質向上研修会

今期の当社のスローガンは「Restart 良い会社をつくろう」です。そのための手段として環境整備を重点目標として社員全員が取り組んでいます。今期は年3回にわたりクラデュース株式会社代表取締役浮田様にご講演を頂きました。3回目の講演には宿題が出され、各自の机の周りの写真を提出しました。



▲三上課長の机の様子

優秀社員賞に選ばれた三上課長の様子です。

私は3回の受講を経て使うもの・使わないものを精査して、不要なものを処分する事で必要なものをすぐ使えるようになり、仕事の効率化につながりました。そういった良い習慣というのは、日々の仕事にもあてはめる事ができます。お客様と話をする時に、事前に話をしたい主旨・伝えたいワード・話の流れ等言葉を取捨選択して、必要なものを順に提供をするという事は毎日の良い習慣から出来るようになるのではないかと思います。3回の講演を経て整理、収納の土台づくりから良い習慣を継続するよう心がけたいと思います。

(営業部・三上)

(優秀社員賞には、片山専務・藤川リーダー・清水課長が選ばれました。)

社長よりご挨拶



新栄だより29号の発刊にあたりご挨拶申し上げます。今回の新栄だよりでは2つの喜ばしい出来事をご報告させていただきました。1つ目は去る11月19日に富山税務署長の瀬戸様よりいただいた表敬状のご報告です。平成28年に優良申告法人としていただいた表敬状から5年が経過し、その間の体制が改めて評価していただいた結果であります。この状況をしっかり継続してまいります。

2つ目は、昨年竣工し新栄だよりでもご報告した富山南警察署新築電気設備工事が富山県知事賞を受賞させていただいたご報告です。県知事賞をいただくのは当社では初の出来事であり、大変に名誉なことだと感じております。ご指導いただいた皆様方に心より御礼申し上げますと共に、協力していただいたパートナーの皆様と喜びを分かち合わせていただきます。今後ともどうぞ

(代表取締役社長・清水)

よろしく願いいたします。